

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス日田教室		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年12月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和8年1月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・柳沢運動プログラムを用いた運動遊び ・静かな活動	・5領域を取り入れた運動遊びを行っている。 ・静かな活動で安全対策や安全指導などの内容も絵カードなどを使用してわかりやすく伝わるように取り組んでいる。	・運動レベルに合わせて個別に運動遊びを考えている。 ・学習障害のある児童などに対して、ひらがなカードや数字カードなどを使用し、楽しく学習に取り組める工夫をしている。
2	・祝祭日や長期休暇のイベント開催 ・季節ごとのイベント活動	・自然体験や季節を感じられる体験ができるようなイベントを企画している。 ・公共機関を利用してのお出かけで社会性を学べるよう工夫している。	・普段イベント活動に参加が少ない利用者にも、興味のあるイベントを考えて参加を促している。
3	・フラッシュカードや絵カードなどを使用しルールや約束事を守るための視覚支援を行ったりSSTの向上、成長経験ができる。	・言葉だけでは伝わりづらいため、絵や、文字に起こして掲示したり、絵カードなどで一緒に確認しながら、成長できるようにしている。	・教室外でもSSTの向上を意識して声掛けを徹底している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の活動に参加できる機会が少ない。	・土曜日が閉所になり、子ども食堂や地域でのイベントへの参加ができなくなった。	・職員の増員で土曜日の開所を目指す。
2	・利用定員に対して、クールダウンをする個室や、個別で静養するスペースが足りない。	・一部屋一部屋のスペースが狭い。	・少しでも広いスペースが取れるように、物の配置を工夫する。
3	・保護者同士や、職員と利用者や利用者の保護者がみんなで交流する機会が少ない。	・保護者同士の困りごとの意見交換をする場や交流する機会が取れていない。	・必要だという希望の声があれば、保護者会を発足する。